

熊本市障がい者生活プランの新旧対照表

ページ	項目	新 (パブリックコメント後)	旧 (R5. 11月協議会時点)	備考
全体	計画期間	令和6年度（2024年度）～令和9年度（2027年度）の4年間	令和6年度（2024年度）～令和11年度（2029年度）の6年間	熊本市第8次総合計画の期間と合わせ、整合性を図るもの。
P3	基本目標1「障がいへの理解啓発と権利擁護」	<成果目標> ●障がい者サポーター研修の受講者数 令和9年度目標値： <u>17,000人</u>	<成果目標> ●障がい者サポーター研修の受講者数 令和9年度目標値： <u>21,000人</u>	計画期間の変更に伴い、今後4年間の見込み数を算出。
P4	基本目標1「障がいへの理解啓発と権利擁護」	<成果目標> ●障がいがあることで差別を感じたり嫌な思いをした経験 令和9年度目標値： <u>20.0%</u>	<成果目標> ●障がいがあることで差別を感じたり嫌な思いをした経験 令和9年度目標値： <u>検討中</u>	当事者アンケートの結果に基づき算出。
P4	基本目標2「質の高い地域生活の実現」	<成果目標> ●熊本市障がい者相談支援センターの利用者数 令和9年度目標値： <u>29,500人</u>	<成果目標> ●熊本市障がい者相談支援センターの利用者数 令和9年度目標値： <u>31,000人</u>	計画期間の変更に伴い、今後4年間の見込み数を算出。
P4	基本目標2「質の高い地域生活の実現」	<成果目標> ●障がいのある人が地域で安心して暮らすための支援や相談の体制が整っていると思う割合 令和9年度目標値： <u>52.0%</u>	<成果目標> ●障がいのある人が地域で安心して暮らすための支援や相談の体制が整っていると思う割合 令和9年度目標値： <u>検討中</u>	当事者アンケートの結果に基づき算出。

熊本市障がい者生活プランの新旧対照表

ページ	項目	新 (パブリックコメント後)	旧 (R5. 11月協議会時点)	備考
P5	基本目標3「自立と社会参加の仕組みづくり」	<p><成果目標> ●熊本市障がい者就労・生活支援センターや就労移行支援事業所等を通じて一般就労した障がいのある人の数</p> <p>令和9年度目標値：<u>446人</u></p>	<p><成果目標> ●熊本市障がい者就労・生活支援センターや就労移行支援事業所等を通じて一般就労した障がいのある人の数</p> <p>令和9年度目標値：<u>475人</u></p>	計画期間の変更に伴い、今後4年間の見込み数を算出。
P5	基本目標3「自立と社会参加の仕組みづくり」	<p><成果目標> ●市主催の手話講座の受講者数</p> <p>令和9年度目標値：<u>3,500人</u></p>	<p><成果目標> ●市主催の手話講座の受講者数</p> <p>令和9年度目標値：<u>4,800人</u></p>	計画期間の変更に伴い、今後4年間の見込み数を算出。
P5	基本目標4「安心・安全な生活環境の整備」	<p><成果目標> ●熊本市が障がいのある人にとって暮らしやすいまちだと思う割合</p> <p>令和9年度目標値：<u>55.0%</u></p>	<p><成果目標> ●熊本市が障がいのある人にとって暮らしやすいまちだと思う割合</p> <p>令和9年度目標値：<u>検討中</u></p>	当事者アンケートの結果に基づき算出。
P6	基本目標4「安心・安全な生活環境の整備」	障がいのある人が日常生活において地域で安心して暮らすことに加え、災害発生時においても障がい特性に配慮した支援や安全の確保、防犯対策を推進します。また、防災対策の推進を図り、バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れたまちづくりに取り組む。	障がいのある人が地域で安心して暮らすことができるように、災害発生時における障がい特性に配慮した支援や安全の確保、防犯対策を推進します。また、防災対策の推進を図り、バリアフリーやユニバーサルデザインを取り入れたまちづくりに取り組む。	パブリックコメントの意見を踏まえ、表現を修正。
P15	1 障がいのある人に対する理解促進・啓発	<p><現状と課題> 障がいのある人が地域で安心して生活を送ることができる社会にするためには、障がいや障がいのある人についての正しい知識と、理解啓発を推進する必要があります。～…</p>	<p><現状と課題> 障がいのある人が地域で安心して生活を送ることができる社会にするためには、障がいや障がいのある人についての正しい知識の普及を進め、啓発活動を推進する必要があります。～…</p>	パブリックコメントの意見を踏まえ、表現を修正。

熊本市障がい者生活プランの新旧対照表

ページ	項目	新 (パブリックコメント後)	旧 (R5. 11月協議会時点)	備考
P15	1-(1) 障がいに対する理解の促進	①様々な媒体を用いた理解促進 ・障がいに対する理解を深めるため、市の広報媒体（市政だよりやホームページ、SNSなど）や新聞・ラジオ・テレビ等の情報メディアを活用し、障がいに対する理解を <u>深める啓発活動</u> を計画的かつ効果的に推進します。	①様々な媒体を用いた理解促進 ・障がいに対する理解を深めるため、市の広報媒体（市政だよりやホームページ、SNSなど）や新聞・ラジオ・テレビ等の情報メディアを活用し、障がいに対する理解の <u>啓発活動</u> を計画的かつ効果的に推進します。	パブリックコメントの意見を踏まえ、表現を修正。
P17	1-(1) 障がいに対する理解の促進	⑤様々な障がいについての理解 ア 精神障がいについての理解促進 ・精神障がいについての偏見や差別をなくすため、精神福祉保健普及運動やピアサポーターの活動を通じて精神障がいに関する正しい理解の促進に努めます。	⑤様々な障がいについての理解 ア 精神障がいについての理解促進 ・精神障がいについての偏見や差別をなくすため、精神福祉保健普及運動や <u>自殺対策強化月間</u> 、ピアサポーターの活動を通じて精神障がいに関する正しい理解の促進に努めます。	パブリックコメントの意見を踏まえ、「自殺対策強化月間」を削除。
P30	2-(2) 療育・相談支援体制の充実	①早期療育の充実 ・乳幼児健康診査等を通じて、障がいや発達に課題があるこどもを早期に発見し、 <u>こどもの健やかな成長と自立した生活の実現のために、こどもとその家族に適切な療育や支援</u> を行います。	①早期療育の充実 ・乳幼児健康診査等を通じて、障がいや発達に遅れがあるこどもを早期に発見し、適切な療育や <u>指導</u> を行います。	関係団体の意見を踏まえ、早期療育の目的について表現を追加。 また、「指導」を「支援」に修正。
P35	2-(5) 医療的ケア児及び重症心身障がい児への支援	図：＜ <u>熊本市の</u> 障がい児療育にかかる支援体制イメージ＞	図：＜障がい児の療育にかかる <u>熊本市の</u> 支援体制イメージ＞	パブリックコメントの意見を踏まえ、表現を修正。

熊本市障がい者生活プランの新旧対照表

ページ	項目	新 (パブリックコメント後)	旧 (R5. 11月協議会時点)	備考
P54	1-(1) 防災対策の推進	⑦災害時の生活再建に向けた支援 ・災害時においては、障がい者相談支援センターやNPO法人等の関係機関・団体と連携を図りながら障がいのある被災者の見守りを行うとともに、 <u>相談体制を充実させ、住宅確保等の</u> 生活再建に向けた支援を実施します。	⑦災害時の生活再建に向けた支援 ・災害時においては、障がい者相談支援センターやNPO法人等の関係機関・団体と連携を図りながら被災者の見守りを行い、生活再建に向けた支援を実施します。	パブリックコメントの意見を踏まえ、表現を修正。
P55	2 生活環境の向上	<現状と課題> 障がいのある人が安全に安心して日常生活を送ることができるよう、 <u>居住環境</u> 、公共施設、交通機関、道路などにおける社会的障壁の除去を進めて、誰もが利用しやすいバリアフリーのまちをつくることが求められています。～…	<現状と課題> 障がいのある人が安全に安心して日常生活を送ることができるよう、 <u>住宅環境</u> 、公共施設、交通機関、道路などにおける社会的障壁の除去を進めて、誰もが利用しやすいバリアフリーのまちをつくることが求められています。～…	パブリックコメントの意見を踏まえ、表現を修正。
P56	2-(1) 住まいの環境の整備	③障がい者の居住支援 ・障がいのある人等の住宅の確保に <u>配慮を要する方（住宅確保要配慮者）</u> の民間賃貸住宅への円滑な入居を実現するために、熊本市居住支援協議会や住宅確保要配慮者居住支援法人と連携して、入居にかかる <u>支援</u> を行います。	③障がい者の居住支援 ・障がいのある人等の住宅の確保に課題を抱える方の民間賃貸住宅への円滑な入居を実現するために、熊本市居住支援協議会や住宅確保要配慮者居住支援法人と連携して、入居にかかる <u>相談支援等</u> を行います。	パブリックコメントの意見を踏まえ、表現を修正。
P56	2-(2) バリアフリー化の推進	①公園・公共施設等の整備 ・公園の整備にあたっては、出入口等の段差の解消や <u>多機能トイレの整備</u> など、誰もが利用しやすい空間の整備に努めます。	①公園・公共施設等の整備 ・公園の整備にあたっては、出入口等の段差の解消など、誰もが利用しやすい空間の整備に努めます。	パブリックコメントの意見を踏まえ、「多機能トイレの整備」を追記。

熊本市障がい者生活プランの新旧対照表

ページ	項目	新 (パブリックコメント後)	旧 (R5. 11月協議会時点)	備考
P57	2-(2) バリアフリー化の推進	②安全で快適な道づくり ・歩道の不陸等の段差解消や点字ブロックの設置等による安全で快適な道づくりを進めます。 ・路上における放置自転車の解消や不法占用物件の撤去指導等を行い、バリアフリー空間の確保に努めます。 <u>・道路と施設との連続性を確保した面的・一体的なバリアフリー化を推進します。</u>	②安全で快適な道づくり ・歩道の段差解消や点字ブロックの設置等による安全で快適な道づくりを進めます。 ・路上における放置自転車の解消や不法占用物件の撤去指導等を行い、バリアフリー空間の確保に努めます。	パブリックコメントの意見を踏まえ、追記。